

## メンバー

**実施者**：当別町地域公共交通活性化協議会

**連携団体**：（一社）北海道開発技術センター、（株）メディア・マジック、NPO法人 フューチャー北海道

## 活動目的

Local MaaSのスキーム確立による**移動利便性・生活利便性の向上**。

利便性確保による公共交通利用者の増加＝**持続可能な移動サービスの提供**。

公共交通を使った外出促進/生活利便性の向上＝**住民の健康維持・地域経済の活性化**。

## 対象地域の概要

**対象地域**：北海道石狩郡当別町

（人口）15,731人（令和2年4月1日現在）

（世帯数）7,634世帯

（高齢化率）35.3%



## 取り組み内容

- ① Local MaaSアプリの開発・実装  
（バス検索システム、デマンド・タクシー予約システム、電子チケットの取得、経路検索システム）
- ② デジタルサイネージの設置
- ③ 定額タクシーサービスの導入
- ④ デリバリーバスサービスの実証実験
- ⑤ 政策統合の検討  
（高齢者・学生・デマンドバス利用者アンケート、ワークショップ、移動と健康のエビデンスづくり）



## 2019年度の活動実績

- ・ Local MaaSアプリの開発・実装  
（バス検索システム、デマンドバス予約システム、経路検索システム）
- ・ デジタルサイネージの設置

## 期待される成果

Local MaaSによる利便性の高い公共サービスの提供、公共交通サービスの採算性向上。  
外出頻度・買物頻度等の向上による住民の健康維持・地域経済の活性化。

## アピールポイント

鉄道の一部線区廃止や少子高齢化に伴う人口減少という厳しい情勢の中、当別版『Local MaaS』を構築することで、便利で暮らしやすい街づくりを目指します。